

公表:令和5年 3 月 31日

事業所名 ヨシア(ヨシア)

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏 まえた改善内容又は改善 目標 |
|-------------|---|---|----|---------------|-----|---|------------------------------------|
| 環境・ 体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | 利用人数に応じて、十分な活動スペースを確保されています。また、適切に構造化して子どもたちにわかりやすいように工夫しています。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 配置数は、法律に定めた配置基準に従って配置しています。 | |
| | ③ | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | 階段に手すりを設置しています。 | |
| 業務改善 | ④ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 毎日の打ち合わせやクラス会議で、全職員が課題解決に努めています。 | 業務改善委員会により、必要に応じて業務改善を行っています。 |
| | ⑤ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | アンケート調査で、保護者の困り感や意見を伺い、クラスで共有し、日々の療育に繋げています。 | |
| | ⑥ | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 自己評価はホームページで公開しています。 | |
| | ⑦ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | ○ | | | 第三者による外部評価を行っています。評価やコンサルティングをもとに業務、療育の改善に繋げるように努めています。 | コンサルテーションによる、アドバイスを受けて、業務改善に繋げて行く。 |
| | ⑧ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 毎月内部で行われる朝研修、新人研修、リーダー研修、役割役割に応じた研修を企画、また、外部の研修にも参加しています。 | 積極的に研修に参加して、学びを深めていく。 |
| 通知 | ⑨ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | アセスメントを行い、子ども、保護者のニーズや課題をクラス会議で話し合い、デイサービス計画を作成しています。 | |
| | ⑩ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 子どもの現状と課題のアセスメントとして、COMMONSENSEペアレンティングのプログラムを使用しています。 | |
| | ⑪ | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | クラス会議やグループスーパービジョン等で、活動プログラムの立案をチームで連携して行っています。 | 引き続き、職員間で活動などのプログラムを立案していく。 |
| | ⑫ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | 子どもの安心の為、構造化上、登園時からの流れは固定化していますが、設定活動では固定化せず子どもたちが楽しんで活動できるよう工夫しています。 | 活動のバリエーションを増やしていく。 |

| | | | | | | | |
|----------|---|--|---|---|--|--|--|
| 異なる支援の提供 | ⑬ | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 学校等の疲れを共感しながら、日々の宿題等に取り組み、長期休暇は宿題等の学習課題に取り組み、挑戦できるよう計画しています。 | |
| | ⑭ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 個別・集団活動を組み合わせ、それぞれの子どもの発達に合わせながら、成長に繋がるような計画を作成しています。 | |
| | ⑮ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 支援前に、支援内容、役割分担、活動を打ち合わせで共有確認しています。 | 職員間のコミュニケーションを大事にしていく。 |
| | ⑯ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | ○ | | | その日の中にできることがない日もありますが、次の日等に振り返りを行い、支援の良かった所、難しかった所や子どもの様子を共有しています。 | 職員間で共通認識を持てるように子ども達の安心感に繋げるようにしていく。 |
| | ⑰ | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 支援終了後に、活動への参加の様子や子どもの気になった行動を記録を取り、次の日の療育に繋げる様になっています。 | |
| | ⑱ | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的にモニタリングを行い、必要な時はデイサービス計画の見直しを行っています。 | |
| | ⑲ | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | ○ | | | 全職員、ガイドラインの総則に従った支援を子どもに合わせて行っています。 | |
| | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 子どもの状況や家族背景を理解した関係者が集まり、会議を行っています。 | |
| | ㉑ | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 学校にも支援員が入るなど連携を密に行っている。又、学プリを保護者に登録して頂き、出欠連絡の効率化を行っています。 | ミスが無いように、2重、3重の確認をシミスのないように情報共有をしていく。 |
| | ㉒ | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | | | | | |
| | ㉓ | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 就学前に利用していた児童発達支援事業所等と子どもの発達や特性、理解に努めるよう連携を行っています。 | |
| | ㉔ | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | | | | | |
| | ㉕ | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、多くの研修や助言を頂いています。 | 継続して、センターと連携し、助言や研修を受けていく。 |
| | ㉖ | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | | 現在新型コロナウイルスの関係上、他機関と活動することは出来ませんが、今後の社会情勢を見ながら、検討していきます。 |
| | ㉗ | (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | | |

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

| | | | | | | |
|------------|---|---|---|--|--|--|
| 保護者への説明責任等 | ⑳ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | 保護者と面談を行い、子どもの状況を共有し、共通理解を図っています。 | |
| | ㉑ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | 保護者に対して、毎月のコモセンスペアレンティグのペアレンティグトレーニング、グループカウンセリングを行っています。 | 引き続き、参加を促していきます。 |
| | ㉒ | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | 契約の際や必要に応じて保護者と個別面談し、丁寧な説明を行うように努めています。 | |
| | ㉓ | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | 子育ての悩みを聞き、保護者の気持ちに寄り添い、必要な助言、支援等を行うようにしています。 | |
| | ㉔ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | ○ | | 父母の会の活動を支援し、保護者同士の連携が支援できるよう努めています。 | 保護者同士の連携を引き続き、支援していく。 |
| | ㉕ | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | 子どもや保護者からの苦情があった場合、苦情対応マニュアルに沿って、速やかに対応するよう努めています。 | |
| | ㉖ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | クラス便りやがくブリ等で、活動概要や行事予定等を、子ども保護者に対して発信しています。 | |
| | ㉗ | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | 個人情報に関わる書類は指定の書庫に保管し、施錠しています。 | |
| | ㉘ | 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | 子どもや保護者との意思を汲み取れる方法を工夫し意思疎通、情報伝達の仕方に配慮しています。 | |
| | ㉙ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | ○ | | 散歩の時に出会った地域住民の方に挨拶するなどして交流を図りました。 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、行事はソーシャルディスタンスを保ち、地域住民を招待する事は自粛させていただきました。今後はコロナ感染の状況を配慮しながら検討していきます |
| 非常時等の対応 | ㉚ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | 各マニュアルを策定し保護者や職員に周知しています。 | |
| | ㉛ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | 毎月一回、水害、地震、火災等を想定した避難訓練、年一回大避難訓練を行っています。 | |
| | ㉜ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | 虐待防止の為アンガーマネジメント研修に参加しています。また、週に1度、職員間で助けを求め、落ち着く練習を行っています。 | 助けを求めやすい、職員間の関係を築いていく。 |
| | ㉝ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | ○ | | 組織的に決定し、本人や保護者に十分に説明、了解を得たうえで、支援計画書に記載しています。 | |
| | ㉞ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | 医師の診断書に基づく対応をしています。 | アレルギー対応マニュアルに沿って対応していく。 |
| | ㉟ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | ヒヤリハット事例は法人内で共有しており、法人内でリスクマネジメント委員会を開催しており、事例を検討し安全に配慮するよう努めています。 | |

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。